

## 資料2

### 教室や家庭でのいじめのサイン

#### 1 教室でのサイン

教室内がいじめの場所となることが多い。教職員が教室にいる時間を増やしたり、休み時間に廊下を通る際に注意を払ったりするなど、サインを見逃さないようにする。

教室でのサイン
嫌なあだ名が聞こえてくる。 席替えなどで近くの席になることを嫌がる。特定の児童生徒を避けるような動きがある。 何か起こると特定の児童生徒の名前が出る。特定の児童生徒の発言に対して、笑いが起きる。 筆記用具の貸し借りが多い。ものが無くなることが多い。
壁等にいたずら、落書きがある。机やイス、教材等が乱雑になっている。

#### 2 家庭でのサイン

家庭でも多くのサインを出している。児童生徒の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるように保護者に伝えておくことが大切である。

家庭でのサイン
学校や友人のことを話さなくなる。友人やクラスの不平・不満を口にするが多くなる。 朝、起きてこなかったり、学校に行きたくないと言ったりする。急に甘えるようになる。 電話に出たがらなかったり、友人からの誘いを断ったりする。 いたずら電話がかかってくるようになる。ひそひそ電話をするようになる。 受診したメールをこそこそ見たり、電話におびえたりする。不審な電話やメールがある。 遊ぶ友達が急に変わる。部屋に閉じこもったり、家から出なかったりする。 すぐに寝たり、逆に夜遅くまで起きていたりする。
理由のはっきりしない衣服の汚れがある。 理由のはっきりしない打撲や擦り傷がある。 登校時刻になると体調不良を訴える。食欲不振・不眠を訴える。 精神的に不安定で、気分の浮き沈みが激しくなる。
学習時間が減る。成績が下がる。 持ち物が無くなったり、壊されたり、落書きされたりする。家庭の品物、金銭がなくなる。 大きな額の金銭を欲しがる。自転車がよくパンクする。